

第十四回春陽会展報告

一、會員推挙 クラタ サツロウ
倉田 三郎

一、春陽會賞 ハラ セイチ
原 精一

タガワ キンジ
田川 勤次
ニイスマ キョウイチ
新沼 杏一

今年の春陽会は御承知の通り画界空前の厳選を行ひました。

その結果、新入選七名 東京に一人だけといふことに立到りました。

今年度の厳選は、所謂常連の無氣力を一掃し新進の登用を敢行したことで、新入選少なきは、アマチュアの一時のきまぐれ作品は、今後通過する事の至難な事を示します。

新進拔擢の一例は、受賞者原精一の如き、その厳選中九点入選してゐます。

倉田三郎の會員推挙は、矢張その意味であり、倉田君は第一回以来の出品者で、此会に於て生粹に育つた者であります。

以上本年の鑑査方針、奨励方針を御報告致します。

四月五日

春陽会

會員推挙

倉田三郎

現住所 東京府下小金井村一八三八

明治三十五年八月二十一日 東京牛込に生れる。

東京美術学校卒業。

大正十三年(第二回展)以降、毎年春陽会展へ出品する。

主なる作品《水辺構図》《馬士小景》《ドリブル前》など。

昭和七年(第十回春陽展)春陽會賞受賞。

昭和八年(第十一回春陽展)春陽會會友に推薦さる。

*

第十四回春陽会展 授賞者発表

春陽會賞

原 精一

現住所 東京府淀橋区上落合二一八五〇

明治四十一年二月 神奈川県藤沢町に生れる。

故萬鉄五郎氏に師事する。

藤沢中学校卒業。同校先輩に鳥海青児氏がいる。

春陽会第五回展に《冬の風景》が入選、以後出品現在に至る。

田川勤次

現住所 大阪市東区徳井町一―九

明治四十二年二月二十八日 大阪市に生れる。

艸園会美術研究所に学ぶ。
そうえんかい

春陽会第四回展より毎回出品する。

新興美術協会会員。

新沼杏一

現住所 福岡市春吉町一五九

明治四十二年四月二十二日 札幌市に生れる。

札幌中学卒業。

長谷川昇氏に師事す。

春陽会洋画研究所に学ぶ。

春陽会第九回展より出品する。